



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第359号

2018年4月2日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

高すぎる国保料で滞納世帯が7000世帯に

国民健康保険は、平成30年度から運営主体が県になり、県から各自治体に標準保険料が示されることとなりました。

八千代市は、国からの交付金を見込んだ激変緩和後の最終的な保険料が313円の引き上げとなりましたが、基金から2億3千万円を取り崩して値上げを抑えることとしました。

他の自治体では、赤字補填のための一般会計からの繰り入れを従前通り行い、1人当たりの保険料を低く抑える努力がされています。しかし、八千代市は、赤字補填のための一般会計からの繰り入れは1円も行っていない。

そのため、高すぎる国保料のため、払いたくても払えない滞納世帯が累積で7184世帯となっています。この根本的な解決には、20%台に削減された国からの交付金を元の50%に戻す以外にはありません。

1980円の大幅引き上げとなった介護保険料

介護保険では、第7期介護保険事業計画（平成30年～32年）の保険料が示され、基準額で、1980円の大幅引き上げとなりました。市は、9億円を超える介護保険事業特別会計の基金について、7期、8期、9期のそれぞれで、3億2千万円を取り崩して値上げを抑制するとしています。ところが平成30年度は、取り崩しを行っても基金の積み立てが増えるみこみです。そうであるなら、さらなる基金の活用で引き上げを抑制すべきです。

この間、介護保険制度の改悪が行われ、要支援1・2が介護保険から外され、各自治体の支援制度とされ、要介護度1・2の人は、介護施設から締め出されています。保険だけ取られ介護が受けられないのは、政府の公約違反です。

後期高齢者医療保険も878円の引き上げ

後期高齢者医療保険料については、2年ごとの見直しで、今回878円の引き上げとなっています。さらに、所得割額の軽減廃止により、低所得者層は大幅増となっています。

「年金が減らされ、食料品も値上がりして大変、保険料も上がったらどうやって生活するの」との悲鳴の聲が寄せられています。

高齢者にとって年金など収入が限られている中での値上げは、さらに生活苦をもたらし、医療の受診から遠ざけ、病気を悪化させるだけです。



このような国保・介護・後期高齢者医療など、保険料が引き上げられる背景には、政府が、社会保障費を削減していることにあります。

日本共産党は、憲法が保障する「生存権」を守るために、社会保障の改悪を許さずだれもが安心して暮らせるよう全力で頑張る決意です。